



## 先物取引の活用で新たな電力調達を開始

### 高田製薬株式会社に約 12GWh を供給

デジタルグリッド株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：豊田祐介、以下「当社」）は、欧州エネルギー取引所（EEX）の電力先物市場を活用した新たな電力調達方法を導入し、2025年12月1日より高田製薬株式会社（本社：埼玉県さいたま市、代表取締役社長：高田浩樹、以下「高田製薬」）に供給を始めました。供給する電力量（固定価格分）は約 12GWh です。

当社は、**需要家（高田製薬）の希望価格や電力量、期間等に応じて「電力先物市場」と「日本卸電力取引所（JEPX）」を用いることでベースロードやピークロード等の固定価格の電力を調達し、「デジタルグリッドプラットフォーム（DGP）」を通じて一部固定価格の電力供給を実現しています。**



#### 背景

燃料費調整単価や日本卸電力取引所のスポット市場価格は、燃料価格や国際情勢の影響により変動する状況となっています。特に2022年にロシア・ウクライナ間の状況が大きく変化した時期には、価格が大きく上昇しました。

そうしたなか当社は、電力を使う「需要家」が希望価格を指定して電力を調達することでコストを抑えられる新たな方法を開始しました。これにより、需要家にとって

- ・ 調達コストの低減
  - ・ 与信調査数の減少など調達プロセスの効率化
- などのメリットを実現しています。



当社は今後も多様なサービスを提供し、お客様がコストや脱炭素方針に応じた電力調達を選択できるよう支援してまいります。

## デジタルグリッドプラットフォーム（DGP）とは

電力を生む「発電家」と電力を買う「需要家」が直接取引できる当社のプラットフォーム。

2025年7月末時点で、1400以上の発電家と3400以上の需要家の各拠点をつないでいます。

## 会社概要

▶令和7年度 気候変動アクション環境大臣賞 ▶令和6年度 新エネ大賞「新エネルギー財団会長賞」

会社名：デジタルグリッド株式会社 (<http://www.digitalgrid.com/>)

代表者：代表取締役社長 CEO 豊田祐介 【東証グロース市場 350A】

設立：2017年10月 資本金：1,139百万円 従業員数：89名（11月1日現在）

所在地：東京都港区赤坂1-7-1 赤坂榎坂ビル3階

事業内容：電力及び環境価値取引プラットフォーム「DGP」運営、分散型電源アグリゲーションサービスの提供